

正 誤 表

「新版東洋医学臨床論（はりきゅう編）（第1刷）」

下記の箇所にて誤りがございました。謹んでお詫びし訂正いたします。

頁	該当箇所	誤	正
24	↑5行目	許俊	許浚
25	4行目	今世紀	1980年代
26	4行目	4世紀中葉	4世紀後半
27	↑8行目	『御纂医宋金鑑・刺灸新法要訣』	『（御纂）医宋金鑑・（編輯）刺灸心法要訣』
	↑1行目	俗字	別体
28	1行目	（中国でも）伝統的に俗字が	（中国・日本ともに）伝統的に別体が
	10行目	附陽	跗陽
	↑9行目	懸鐘	懸鍾
29	↑2行目	「馬丹陽天星十二穴並治雜病歌」	「馬丹陽天星十二穴並治雜病歌」
30	7行目	『靈枢』本藏	『靈枢』衛氣
	8行目	体幹部に	体幹・顔面部に
	↑13行目	「左使穴」	「佐・使穴」
31	16行目	<small>しぎぞう</small> 牡蔵	<small>ぼぞう</small> 牡蔵
	17行目	<small>ひんぞう</small> 牡蔵	牡蔵
	18行目	牝蔵	<small>ひんぞう</small> 牝蔵
32	6行目（2箇所）	尅する・尅される	克する・克される

32	表 1-2-5	<p>[以下に差し替える]</p> <p style="text-align: center;">表 1-2-5 変輸のいろいろ</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">季節</th> <th colspan="2">〔靈枢〕</th> <th colspan="4">〔素問〕</th> </tr> <tr> <th>本輸</th> <th>終始</th> <th colspan="2">金匱真言論</th> <th>水熱穴論</th> <th>四時刺逆從論</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>春</td> <td>絡脈諸榮大經分肉之間</td> <td>毫毛</td> <td>絡脈分肉</td> <td>腧腧</td> <td>絡脈分肉</td> <td>經脈</td> </tr> <tr> <td>夏</td> <td>諸輸孫絡肌肉皮膚之上</td> <td>膚</td> <td>盛經分腠</td> <td>洞洩寒中</td> <td>盛經分腠</td> <td>孫絡</td> </tr> <tr> <td>長夏 (仲夏)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>胸脇</td> <td>—</td> <td>肌肉</td> </tr> <tr> <td>秋</td> <td>諸合</td> <td>分肉</td> <td>經・輸</td> <td>風瘧</td> <td>經・輸</td> <td>皮膚</td> </tr> <tr> <td>冬</td> <td>諸井諸輸之分</td> <td>筋骨</td> <td>井・榮</td> <td>痺厥</td> <td>井・榮</td> <td>骨髓中</td> </tr> </tbody> </table>		季節	〔靈枢〕		〔素問〕				本輸	終始	金匱真言論		水熱穴論	四時刺逆從論	春	絡脈諸榮大經分肉之間	毫毛	絡脈分肉	腧腧	絡脈分肉	經脈	夏	諸輸孫絡肌肉皮膚之上	膚	盛經分腠	洞洩寒中	盛經分腠	孫絡	長夏 (仲夏)	—	—	—	胸脇	—	肌肉	秋	諸合	分肉	經・輸	風瘧	經・輸	皮膚	冬	諸井諸輸之分	筋骨	井・榮	痺厥	井・榮	骨髓中
季節	〔靈枢〕		〔素問〕																																																
	本輸	終始	金匱真言論		水熱穴論	四時刺逆從論																																													
春	絡脈諸榮大經分肉之間	毫毛	絡脈分肉	腧腧	絡脈分肉	經脈																																													
夏	諸輸孫絡肌肉皮膚之上	膚	盛經分腠	洞洩寒中	盛經分腠	孫絡																																													
長夏 (仲夏)	—	—	—	胸脇	—	肌肉																																													
秋	諸合	分肉	經・輸	風瘧	經・輸	皮膚																																													
冬	諸井諸輸之分	筋骨	井・榮	痺厥	井・榮	骨髓中																																													
33	表 1-2-6 「内外証 (十六難)」の行, 上から 5 番目のカラム	善沫	善味																																																
	表 1-2-7 タイトル	『難経』七十九難の選穴法	『難経』六十九難の選穴法																																																
35	表 1-2-10	<p>[以下に差し替える]</p> <p style="text-align: center;">表 1-2-10 『難経』七十五難の選穴法</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">七十五難型 虚実複合証</th> <th colspan="2">瀉法 (第三法)</th> <th colspan="2">補法 (第三法)</th> </tr> <tr> <th>実經の子穴 (第一法)</th> <th>子經の自穴 (第二法)</th> <th>虚經の子穴 (第一法)</th> <th>子經の自穴 (第二法)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肝実肺虚証</td> <td>行間</td> <td>勞宮</td> <td>尺沢</td> <td>陰谷</td> </tr> <tr> <td>心実腎虚証</td> <td>大陵</td> <td>太白</td> <td>湧泉</td> <td>大敦</td> </tr> <tr> <td>脾実肝虚証</td> <td>商丘</td> <td>經渠</td> <td>行間</td> <td>勞宮</td> </tr> <tr> <td>肺実心虚証</td> <td>尺沢</td> <td>陰谷</td> <td>大陵</td> <td>太白</td> </tr> <tr> <td>腎実脾虚証</td> <td>湧泉</td> <td>大敦</td> <td>商丘</td> <td>經渠</td> </tr> </tbody> </table>		七十五難型 虚実複合証	瀉法 (第三法)		補法 (第三法)		実經の子穴 (第一法)	子經の自穴 (第二法)	虚經の子穴 (第一法)	子經の自穴 (第二法)	肝実肺虚証	行間	勞宮	尺沢	陰谷	心実腎虚証	大陵	太白	湧泉	大敦	脾実肝虚証	商丘	經渠	行間	勞宮	肺実心虚証	尺沢	陰谷	大陵	太白	腎実脾虚証	湧泉	大敦	商丘	經渠														
七十五難型 虚実複合証	瀉法 (第三法)		補法 (第三法)																																																
	実經の子穴 (第一法)	子經の自穴 (第二法)	虚經の子穴 (第一法)	子經の自穴 (第二法)																																															
肝実肺虚証	行間	勞宮	尺沢	陰谷																																															
心実腎虚証	大陵	太白	湧泉	大敦																																															
脾実肝虚証	商丘	經渠	行間	勞宮																																															
肺実心虚証	尺沢	陰谷	大陵	太白																																															
腎実脾虚証	湧泉	大敦	商丘	經渠																																															
	↑3~↑2 行目	肺經の自穴と脾經の子穴	肺經の子穴と脾經の自穴																																																

36	表 1-2-11 「虚経の母経の自穴」の行	上から2番目のカラム	太白	大敦
		下から2番目のカラム	陰谷	太白
44	↑ 11 行目		撚鍼術	捻鍼術
	↑ 10 行目		捻鍼術	撚鍼術
47	20 行目		病まる	病なる
50	↑ 16 行目 見出し		E. 雷火鍼法	E. 雷火鍼法および棒灸
	↑ 14 行目		当てる方法である.	当てる方法がある.
	↑ 12 行目		把持した棒灸を	把持した艾条を
61	↑ 12 行目		交感神経 - 副腎皮質系	交感神経 - 副腎髄質系
66	図 2-1-4		[追記] [篠原昭二：誰でもできる経筋治療， p.50， 医道の日本社， 2005より許諾を得て転載]	
	図 2-1-5		[追記] [篠原昭二：誰でもできる経筋治療， p.51， 医道の日本社， 2005より許諾を得て転載]	
	図 2-1-6		[追記] [篠原昭二：誰でもできる経筋治療， p.52， 医道の日本社， 2005より許諾を得て転載]	
	図 2-1-7		[追記] [篠原昭二：誰でもできる経筋治療， p.40～42， 医道の日本社， 2005より許諾を得て転載]	
67	図 2-1-8		[追記] [篠原昭二：誰でもできる経筋治療， p.38， 医道の日本社， 2005より許諾を得て転載]	
	図 2-1-9		[追記] [篠原昭二：誰でもできる経筋治療， p.35， 36， 医道の日本社， 2005より許諾を得て転載]	
	図 2-1-10		[追記] [篠原昭二：誰でもできる経筋治療， p.44， 医道の日本社， 2005より許諾を得て転載]	

	図 2-1-11	[追記] [篠原昭二：誰でもできる経筋治療, p.46～48, 医道の日本社, 2005より許諾を得て転載]		
	図 2-1-12	[追記] [篠原昭二：誰でもできる経筋治療, p.49, 医道の日本社, 2005より許諾を得て転載]		
68	図 2-1-13	[追記] [篠原昭二：誰でもできる経筋治療, p.30～33, 医道の日本社, 2005より許諾を得て転載]		
	図 2-1-14	[追記] [篠原昭二：誰でもできる経筋治療, p.26, 27, 医道の日本社, 2005より許諾を得て転載]		
	図 2-1-15	[追記] [篠原昭二：誰でもできる経筋治療, p.23, 24, 医道の日本社, 2005より許諾を得て転載]		
77	↑12行目	下降性疼痛調節系	下行性疼痛抑制系	
103	脚注 ↑2行目	上肢下方牽引テスト▶肩引き下げテストとも呼ばれ, 上肢を下方牽引して	上肢下方牽引症状誘発テスト▶上肢を下方牽引して	
123	↑1行目	小胸筋 (雲門)	小胸筋 (中府)	
124	2行目	肩甲挙筋 (天髎)	肩甲挙筋 (肩外兪・肩中兪)	
134	3行目	崑崙	崑崙	
	7行目	膝下動脈	膝窩動脈	
	19行目	築賓	交信	
144	8行目	臀中	秩辺, 環跳	
156	脚注	1行目	進展	伸展
		2行目	陽性靭帯	腸脛靭帯
190	表 2-2-1-2, 左端の欄, 上から5番目のカラム	動作緩慢・不安焦燥感	動作緩慢・不安・焦燥感	
196	22行目	行気理気	行気・理気	
220	↑10～↑9行目	行気理気	行気・理気	

228	↑4行目	行気理気	行気・理気
245	15行目	榮火穴	榮水穴
251	6行目	榮火穴	榮水穴
260	↑10行目	抗精神病薬	向精神薬
265	19行目	合土穴	合水穴
280	13行目	上眼窩切痕	眼窩上切痕
	16行目	下降性疼痛抑制系	下行性疼痛抑制系
373	13行目	血管内皮平滑筋	血管内皮および平滑筋
378	↑9, ↑3行目	上行大静脈症候群	上大静脈症候群
406	12, 20, 24行目	ハウス・ブクマン	ハウス・ブラックマン
	13~14行目	フェイススケール (FaCE scale)	FaCE Scale (Facial Clinimetric Evaluation Scale)
	↑12行目	フェイススケール	FaCE Scale
407	図2-4-1, 図タイトル	FaCE scale	FaCE Scale
453	↑9行目	薄膩	やや膩
476	↑3行目	腸膜炎	腹膜炎
495	7~8行目	まったく分泌しないものをいう。小乳（もしくは欠乳）という。	まったく分泌しないものを小乳（もしくは欠乳）という。
497	6行目	社会的要因によるものである精神状態も乳汁分泌に～	社会的要因によるものである。精神状態も乳汁分泌に～
501	7行目	途上過程にある成人とは～	途上過程にあり，成人とは～
522	5行目	夜尿の他。息切れ，	夜尿の他，息切れ，
530	↑14行目	桿体	杆体

2026年2月3日
株式会社南江堂